

「もっこすプラン2008」の重点実施事項

【教育に関する事項】

1 優秀な学生確保のための入試広報の充実・入学選抜制度の改善

[具体的取組例]

- ・ 鹿児島と宮崎において、入試広報を兼ねた熊本県立大学講演会を開催する。
- ・ 大学院については、新たに導入した長期履修制度の有効活用に向け社会人選抜等の広報を強化する。
- ・ 高等学校進路指導担当者からの意見聴取、新入生アンケートを通じ、高等学校の要望を認識するとともに、今日的大学ニーズを反映した選抜制度を検討する。
- ・ 優秀な学生を早期に確保する観点から、文学部と環境共生学部食健康科学科についてもAO入試導入の可否を検討する。
- ・ 総合管理学部の一般選抜前期日程試験での個別学力検査の導入についての検討を行う。
- ・ 多様な人材を受け入れるための選抜制度の可能性について全学的な視点で検討を行う。

2 モデル高校との取組を中心とした高大連携の推進

[具体的取組例]

- ・ 熊本県教育委員会との協定に基づき、高大連携のモデル高校5校と、先行モデルとなる取組を継続して実施する。
- ・ 私立高校との連携について検討する。
- ・ モデル高校との取組の成果を県内の各高校に対し広く伝える。
- ・ 出張講義を実施するとともに、文部科学省の研究指定校等との高大連携事業に取り組む。
- ・ 高校と大学の接続の観点から入学前教育の拡充を図り、AO入試や推薦入試などの合格者を対象とした入学前学習支援プログラムを全学部で実施する。
- ・ “高大連携SUMMER COLLEGE” を実施する。

3 キャリアデザイン教育の実施体制構築等

[具体的取組例]

- ・ 平成20年度からの新カリキュラムで新たに開講するキャリアデザイン科目群を中心に、キャリアデザイン教育のシステム化を図る。
- ・ 必修科目の「キャリア形成論」と「プレゼミナール」で初年次キャリア教育を強化する。
- ・ すべての学習や経験が蓄積されるよう本学独自のキャリアフォリオ（ポートフォリオ）の全学的普及を図る。
- ・ キャリアサポートプログラムである就職相談や資格試験受験対策講座などとも

有機的連携を図ることで、小規模大学の利点を生かした本学独自のキャリアデザイン教育システムを推進する。

4 「もやいすと」育成プログラムの充実、特に段階的プログラムの構築による地域に貢献する人材の育成とインターンシップや各学部フィールドワークとの連携 [具体的取組例]

- ・ 「もやいすとジュニアコース」は、1年生全員が参加するプログラムとして実施する。その導入プログラムとして、教養教育の地域理解科目群「新熊本学」を1年生の必修科目とする。また、各学部で1年次から2年次にかけて学年全員を対象として実施するフィールドワークを地域活動プログラムとして位置づけ実施する。
- ・ 「もやいすとシニアコース」については、キャリアデザイン科目群の「インターンシップ」において、包括協定自治体に派遣する地域インターンシップの導入を検討する。また、各学部で独自に取り組むフィールドワークや演習科目における地域での調査活動との連携を図る。「もやいすとスーパーコース」では、地域課題の解決のための具体的方策などをテーマとした卒業研究や大学院での研究に結びつける。
- ・ 本学の教員が実施した研究や地域連携活動の成果等を反映して執筆した教科書「熊本学のススメ」を刊行し、「もやいすと」育成プログラムで活用するとともに、「新熊本学」（6科目）の授業テキストとしても活用する。

5 大学院の教育力向上のための大学院専門委員会の組織及び運営体制の見直し、文学研究科英語英米文学専攻の博士課程設置準備

[具体的取組例]

- ・ 大学院の教育力の向上を目指し、教務委員会の専門委員会として位置づけられている大学院専門委員会をより権限と責任を有する組織及び運営体制へ改善するための見直しを行う。
- ・ 文学研究科英語英米文学専攻の博士課程については、平成22年度開設に向け、文部科学省への申請の準備を進める。

6 教育研究力向上のためのFD推進

[具体的取組例]

- ・ 年間計画を立て大学全体、学部、研究科の各単位でそれぞれFD研修を実施する。
- ・ 大学教員養成及びTAD（ティーチングアシスタント・デベロップメント）の一環として、大学院生（特にTA）にFDへの参加を促す。
- ・ 授業評価アンケートについて、その結果を授業改善に反映できるよう、アンケートの実施時期を、学期末から学期の中間の時期に変更して実施する。

- ・ 授業改善の取組事例についての発表を内容としたFD研修を実施する。

7 中・長期的人事計画に基づく適正な教員人事の実施

[具体的取組例]

- ・ 各学部で作成した中・長期的人事計画案について、概ね10年を目途に見直しを行う。
- ・ 文学部については、大学院文学研究科英語英米文学専攻の博士課程設置も念頭に置いた人事計画案の見直しを行う。
- ・ 採用・昇格に伴う資格審査及び大学院担当教員等の資格審査について改善を図る。

【研究に関する事項】

8 学部横断的研究実施など学長特別交付金制度の効果的な運用

[具体的取組例]

- ・ 平成21年度に成果をとりまとめる方向で学際型研究「天草プロジェクト」を精力的に推進する。
- ・ 平成18年度から平成20年度までの取組状況を踏まえ、学長特別交付金制度の点検評価を行う。

9 科学研究費補助金等外部研究資金の全教員申請と当該補助金獲得のための組織的な支援の推進

[具体的取組例]

- ・ 科学研究費補助金等の外部研究資金について、全教員の応募を目指し、申請に向けた準備のための説明会等の開催や、公募情報の収集・提供を行う。
- ・ 学部長、研究科長を中心に、外部資金獲得に向けた意識啓発を行う。
- ・ 外部資金を使った研究事例（研究活動）集の編集を検討する。

10 教員各人による自己点検の定常的实施

[具体的取組例]

- ・ 平成19年度に導入した研究者情報入力システムを活用し、教員各人の研究成果等の公表を促進する。

11 研究者個々人の研究実績の積み増しによる大学研究力の向上

[具体的取組例]

- ・ 国内外の学会等への参加を奨励するとともに、他機関の研究者との共同研究を推進する。
- ・ 環境共生学研究科を中心に連携大学院協定制度の導入について検討する。
- ・ 顕彰制度に基づいた運用を図るとともに、表彰を受けた教員によるFD研修を

実施する。

【地域貢献に関する事項】

12 包括協定を軸とした教育研究の場としての実践的取組の推進

[具体的取組例]

- ・ 包括協定自治体等を中心に、地域をフィールドとした「天草プロジェクト」等の学際型研究や受託研究などを推進する。
- ・ 包括協定自治体や企業等との連携により、協定に掲げる各種取組を積極的に実施する。特に、包括協定企業と連携し、環境をテーマとした中学生作文コンテストを企画するなど環境に関連した取組を進める。
- ・ 地域課題の解決のための具体的方策を学ぶため、「もやいすと」育成プログラムの取組として、包括協定自治体に派遣する地域インターンシップの導入を検討する。
- ・ 各学部が取り組むフィールドワークや演習科目等において、地域での調査活動を行い、地域課題の解決策の提言を行う。

13 「くまもとさんちの食育ビジョン」に掲げたプログラムの全学的な推進

[具体的取組例]

- ・ 地域連携センターに設置された食環境研究情報室を中心に、学食を活用した食育の推進、食育セミナーの開催等食育ビジョンに掲げた具体的な取組を実施する。
- ・ 食育に関連した学会の誘致を検討する。

14 高等教育コンソーシアム熊本会長校としての積極的な事業推進

[具体的取組例]

- ・ 「高等教育コンソーシアム熊本」の会長校として、「熊本の高等教育機関」の将来像を見据えながら、積極的に当該コンソーシアムの事業を牽引していく。

15 公開講座・シンポジウム・学会等の積極的な誘致・開催による「キラリと光る」知の拠点の形成

[具体的取組例]

- ・ 授業公開講座開講科目数の増加に努める。
- ・ 既存の各種公開講座開講を推進する。また、新たに客員教授や協力講座提供企業参加による公開講座を企画することで、社会人の学び直しニーズ、包括協定自治体の人材育成ニーズ等に応える。
- ・ 各種公開講座への参加を促すため、パンフレット等による広報を県内全地域で行う。

【国際交流に関する事項】

16 国際交流ビジョンに基づく全学的・実践的な取組、特に、「熊本で世界と向き合う」取組の推進

- ・ 平成19年度に策定した「国際交流ビジョンを推進するための具体策」の中で、特に次の項目について、重点的に取り組む。
 - ・ 学生の国際交流活動への参加促進
 - ・ 留学生インターンシップ受入企業の開拓

【学生支援に関する事項】

17 授業料減免制度の見直しと独自の奨学金制度の創設

[具体的取組例]

- ・ 平成21年度から導入する熊本県立大学奨学金並びにこれに伴う見直し後の授業料減免制度が、適切に運用できるように準備を進めるとともに、当該制度の周知を図る。

18 就職支援体制の見直し

[具体的取組例]

- ・ 学科長・コース長の下で、学科・コース毎の支援体制を整備し、学生の就職支援を実施する。
- ・ 就職相談業務の充実を図る目的で就職センターの見直しを進める。
- ・ 大学ホームページの「熊本県立大学就職情報検索WEB」の拡充を行い、利用促進を図る。

【業務運営に関する事項】

19 全職員による学内業務運営の推進に向けたSD活動の継続的实施

[具体的取組例]

- ・ 平成19年度に策定したSD計画（中期）に沿って研修を順次実施し、大学職員としての専門性を身につけた事務職員の育成に努める。

【財務会計に関する事項】

20 各セグメント単位での財務分析結果を踏まえたきめ細やかな予算編成の実施

[具体的取組例]

- ・ セグメント単位での財務分析を継続しながら、これを参考にした予算の編成を行う。

【大学情報の公開・公表に関する事項】

21 戦略的広報活動の展開、特にターゲットの特性に応じた直接広報、間接広報の選択と充実

[具体的取組例]

- ・ 鹿児島と宮崎において大学広報を兼ねた熊本県立大学講演会を開催する。
- ・ 卒業生を主な対象として大学歴史資料の収集、並びに寄附金の募集に係る広報活動を開始する。
- ・ 外部からの提言を受けるためのシステムを大学ホームページに開設する。

【快適キャンパス（施設設備等）に関する事項】

22 地球環境時代の地域コミュニティと共生し、ユニバーサルデザインを取り入れたキャンパスづくりの推進

[具体的取組例]

- ・ 平成17年度に策定した建物保全計画及び平成19年度策定の設備更新計画に基づき、平成20年度は、大講義棟外壁工事、教育研究機器の更新等の施設・設備の整備を行う。